

6月27日

東京2020
オリンピック
聖火リレー



長野五輪メダリストの岡崎朋美さんからの聖火を受け継ぎ、脊髄性筋萎縮症という難病を抱える小林俊介さんが聖火ランナーを務めました。

2021
No.45

令和3年8月1日発行

5月臨時会
6月定例会

- 正副議長就任あいさつ・議会構成 など P2~3
- 2年間を振り返って P4~6
- 5月臨時会、6月定例会情報 P7~10
- 築40年を経過した公共施設を視察 P11
- 委員会活動 P12
- 一般質問 村政を問う!! P13~15
- 追跡レポート あの質問のゆくえ... P16
- 議会だよりモニター通信 P17
- 村民の声「村の伝統芸能『太々神楽』で奮闘」 P18

議会構成が変わりました

議長に三浦直樹氏

副議長に渡辺宗司氏

【令和3年5月10日就任】

5月10日に開催された令和3年第1回臨時会において、正・副議長が辞職願いを提出したため、議長選挙などを行い、新しい議会構成を決定しました。

議長 就任あいさつ

公正円滑な議会運営を行い村の発展に尽力



議長
三浦直樹

去る5月10日、議員各位のご推挙をいただき議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

村民の皆様には、平素から議会へのご理解とご支援をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

昨年より猛威を振るう新型コロナウイルスにより、村民の皆様も大変な毎日をお過ごしのことと存じます。現在、新型コロナウイルスワクチン接種が進められております。コロナ収束に向けて皆で協力し頑張っていきたいと思います。

コロナ対策、災害対策、少子化対策等、諸問題を随時注視してまいります。

村の魅力を都市部にアピールし、企業や工場を誘致することで雇用を創出し、働く世代を村に呼び込む施策を行いたいと思います。村執行部とともに村内への移住・定住の促進に取り組んでまいります。

今後も、安全で安心な鳴沢村のための議会運営を目指してまいります。更なるご支援ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

副議長 就任あいさつ



副議長
渡辺宗司

大任を拝し責任の重さを痛感

このたび5月臨時議会におきまして、議員各位のご推挙をいただきまして副議長に就任いたしました。

副議長という大任を拝し、身に余る光栄でございます。また同時に責

任の重さを痛感しております。

議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、村民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議会運営委員会

議会運営全般に関することや一般質問の調整をはじめ、議長の諮問に関する調査、議案・請願などの審査を行います。



委員長 渡邊明雄

委員長 渡邊明雄
副委員長 三浦雄一郎
委員 土屋文明
" 渡辺次男
" 佐藤博水

総務教育厚生常任委員会

総務、税務、教育、厚生に関する事務、その他の委員会に属さない村政一般事項に関する審査を行います。



委員長 佐藤博水

委員長 佐藤博水
副委員長 渡辺正人
委員 渡辺宗司
" 小林昭一
" 三浦直樹

建設産業経済常任委員会

土木、建築、水道、産業、経済、観光に関する事項の審査を行います。



委員長 渡辺次男

委員長 渡辺次男
副委員長 小林清一
委員 三浦雄一郎
" 土屋文明
" 渡邊明雄

広報常任委員会

議会だよりへ掲載する記事の作成や編集、発行を担当し、議会の広報に関することを行います。



委員長 土屋文明

委員長 土屋文明
副委員長 渡辺正人
委員 渡辺宗司
" 渡辺次男
" 小林昭一

予算決算常任委員会

予算、決算などに関連する事項の審査を行います。



委員長 三浦雄一郎

委員長 三浦雄一郎
副委員長 渡辺次男
委員 全議員

- 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員
渡辺宗司、小林清一、渡邊明雄、三浦直樹
- 河口湖南中学校組合議会議員
渡辺宗司、小林清一、渡邊明雄、三浦直樹
- 富士五湖広域行政事務組合議会議員
小林昭一、佐藤博水
- 青木が原ごみ処理組合議会議員
土屋文明、渡辺次男、佐藤博水
- 青木ヶ原衛生センター議会議員
三浦雄一郎、渡辺正人、土屋文明
- 山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員
三浦雄一郎
- 議会選出監査委員 小林昭一

2年間を 振り返って

昨年度より「議会だよりモニター」を導入しご意見を伺っておりますが、いただいたご意見の中に「議員さんの村に対する想い、日頃行っている議員活動を知りたい」「日頃の住民との接点が見えると親近感も出る」といったものがございました。

そこで今回、それに応える意味合いも含め、令和初となる鳴沢村議会議員に就任し、半期となる2年を経過した各議員に、これまでの取組・感想や今後の抱負、いま力を入れていること、日頃行っている地域活動などを聞いてみました。

それぞれの想いや議会外での姿を見ていただき、より身近な存在、頼れる存在に感じていただければ幸いです。



全力投球の回想

三浦 雄一郎 議員

新人議員として2年が経ちました。自身の抱負で述べた「全力投球 young power on the front」が出来ているか否か、村民の皆様にはどのように映っているでしょうか？

私自身、活動報告書を3回発行させていただき感じたこと、思ったことは述べてきたつもりであります。正直、現状は日々勉強が続いています。

「おかげさま」の感謝の気持ちで、「積み重ね、積み重ねてもまた積み重ね」の思いを持ち、今後も鳴沢村の創生に寄与して行きたいと考えています。

議員活動の振り返り 渡辺 正人 議員

議員活動の指標として、富士山ビュースポット整備、鳴沢村の特産品販路拡大、雇用拡大などに取り組み、これらを多角的に結びつける政策として、観光産業の中心である道の駅の再開発を行う事で、農産物の拡販や雇用拡大などに繋げるビジョンにまとめ、道の駅のリニューアルに取り組んでいます。

また、境野リサイクル業の対策やふるさと納税の返礼品発掘に取り組みました。

皆様からのふるさと納税、返礼品情報をお待ちしています。





災害に強い 村づくりを推進

渡辺 宗司 議員

議員に就任し、2年余りが過ぎました。定例会や委員会は慣れないことばかりで、当初は諸先輩議員に聞かなければ分からないことばかりでした。

近年では、異常気象の影響により、大雨に伴う河川の決壊による床上浸水や、土石流による家屋の損壊、人的被害が、各地で散見されます。

このようなことから、鳴沢村で災害が発生しても、被害を最小限に食い止めるため災害に強い村づくりを目指し、ソフト・ハードの両面で防災に取り組んでいきます。

進化する防災対策

土屋 文明 議員

人生100年時代と言われる現代にあって、50年に一度100年に一度という災害が多発しています。私たちも「災害は必ず起こる」という意識を持ち、備えて行く必要があると考えます。

昨年より防災を基礎から学び防災士資格を取得、6月から村内在住の防災士・有識者と検討会をスタートさせました。

防災計画の策定周知だけでなく、子供から高齢者まで全員が富士山噴火・自然災害から身を守る意識の醸成に取り組み活動して参ります。



災害に強く安心して 暮らせる村に

渡辺 次男 議員

世界遺産富士山邑といえる美しい鳴沢村を目指して議員活動をスタートしました。

コロナ禍で人出は減少している状況でも、ポイ捨てゴミは目につきます。国道沿いに花を植えるなど、ポイ捨てしにくい環境整備を推進します。

また、このたび「防災士」の資格を取得しました。行政、防災士仲間そして地域のみなさまと協力して、「地域防災力」向上のための活動を始めます。

農業の活性化へ 若い力に期待

小林 清一 議員

これまで、主に農業振興や道の駅の活性化に取り組んできました。

私自身も妻とトウモロコシ、ブルーベリーその他野菜を育て道の駅に出荷しています。道の駅の「ふじさん出荷組合理事会」にも毎月参加して道の駅の実績や問題点などを情報交換しています。

出荷される方の高齢化に伴い出荷量の減少を心配していますが、最近村外を含め若い方が新しく参加するような明るい状況が見られるようになりました。新しい仲間を迎えさらに頑張りたいと思います。





住みよい 村づくりとは

小林昭一 議員

最近、思うことがあります。住みよい村とは何かです。

子供からお年寄りまで幸福感を感じ、生き甲斐を感じながら日々の生活を過ごすことではないか？日々の生活の安心を守るには、災害から村民を守ること。村民各人が災害の認知度を上げることだと感じます。

また、老若男女が一堂に会する機会を設け、日頃からお互いに親近感を感じて生活することではないかと思います。毎日が、幸せを感じる村づくりを目指したいと思います。

村民の暮らしの 向上へ尽力

渡邊明雄 議員

改選からはまだ2年ですが、振り返ってみますと議員としては無投票当選2回、選挙戦による当選1回の通算10年が過ぎました。

特に思い起こすことは、前回の県知事選で長崎幸太郎山梨県知事の後援会を立ち上げ、鳴沢村と長崎知事との強い繋がりが持てたことです。

村民の皆様のご指導やご要望をお受けし、村や県にそのご要望を伝えて、より良い住みやすい鳴沢村にしていきます。村営施設の改善、村民の暮らしの向上など積極的に取り組みます。



改選から2年の 過程と今後の政策

佐藤博水 議員

改選後の令和元年5月の議会構成変更により、議会運営副委員長、予算決算常任委員長、総務教育厚生常任委員のほか、鳴沢・富土河口湖恩賜県有財産保護組合議員・河口湖南中学校組合副議長として、諸課題の解決に取り組みました。

長期化するコロナ禍の生活に与える影響は深刻であり、現在の状況は喫緊の課題が山積し、適切な政策と実行が重要です。

『住んで良かったと実感できる村づくり』のため、全身全霊で行政当局と議論を重ね邁進します。

議員活動も テニス指導も全力で

三浦直樹 議員

議員としての所信はP2「議長就任あいさつ」をご覧いただき、ここでは私が指導している「鳴沢村テニススポーツ少年団」のお話を。

今年で15年目を迎え、村内の5～14才までの子供たち23名が週2回の練習で汗を流しています。できる限りの新型コロナウイルス感染対策を行い、子供たちが元気にのびのびテニスを楽しめるよう留意しています。

鳴樹館という素晴らしいテニスコートがある鳴沢村で、議員活動もテニス指導も全力で取り組んでいます。



補正予算

くらし応援商品券発行事業費を可決

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売り上げが減少している村内事業者及び村民の生活を支えるため、昨年度実施した『くらし応援商品券』を今年度も配布する事業費3356万円を可決しました。

村民一人につき1万円分配布され、鳴沢村・富士河口湖町の取扱店舗で令和3年12月31日まで利用できます。

なお、財源には「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が充当されます。

専決承認

新型コロナの影響による住宅ローン控除適用期限の延長

鳴沢村税条例等一部改正の専決処分承認

地方税法の一部を改正する法律が4月1日から施行されることに伴い、関連する条例整備を行うために専決処分(※)をしたもので、承認しました。

おもな改正点は、軽自動車税の税率を軽減する「グリーン特例」の延長や、新型コロナウイルス感染症の影響によ

り住宅ローン控除の適用要件を満たさなくなってしまった場合の、適用期限延長の特例措置などです。

※専決処分

議会が議決・決定すべき事項を、特定の場合に限り、村長が議会に代わって処理すること。

人事

議会構成変更に伴う議会選出監査委員(※)の選任で、次の方の選任に同意しました。

任期は、令和5年4月29日までとなります。

※監査委員

知識経験委員と議会選出委員の2人で組織する独任制の機関で、首長の指揮監督を受けずに、独立した立場で監査を行う。

地方公共団体の予算執行や財産管理はもとより、一般行政事務も公正で効率的な運営がなされているかチェックを行う。



小林 昭一 議員

6月定例会

会期：6月15日～18日（4日間）

今定例会では3件の補正予算をはじめ、7件の条例改正や3件の人事案件など合計16議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算の審議では、総合センター北側急傾斜地擁壁工等に伴う用地補償料や、小学校への感染症対策水道の設置費、道の駅などへの多言語案内看板設置費などが可決されました。

また、会期中に建築年数が40年以上経過している公共施設の現地視察を実施し、現在の施設の状況や老朽化による問題点などを確認いたしました。（詳細はP11）

一般質問には3名の議員が登壇し、アフターコロナにおける健康増進の施策、富士山火山防災対策、大雨災害時等の避難情報変更の周知徹底など、さまざまな角度から村の姿勢を問いただきました。（詳細はP13～15）

おもな補正予算

一般会計 1062万円を追加し、予算総額は21億2955万円に

使いみち

●総合センター北側急傾斜地擁壁工等に伴う用地補償料	800万円
●総合センター北側急傾斜地擁壁工等に伴う立竹木補償	50万円
●鳴沢小学校 感染症対策水道設置	360万円
●簡易水道事業特別会計繰出金	275万円
●介護保険特別会計繰出金	97万円
●来庁者及び議会用Wi-Fi構築作業委託など	73万円
●山道ホール ガス回転窯バーナー交換	11万円
●なるさわ富士山博物館展望案内多言語看板設置工事	11万円

●道の駅なるさわ多言語案内看板設置工事	8万円
●自然探索路展望台多言語看板設置工事	4万円
●ことばの教室共同設置事業 増額分負担金	5万円
●人件費	△633万円

財源

●繰越金	983万円
●急傾斜地崩壊対策事業に係る立竹木補償	50万円
●観光資源多言語案内加速化事業費補助金	12万円
●低所得者保険料軽減負担金(国)	12万円
●低所得者保険料軽減負担金(県)	6万円

介護保険特別会計

147万円を追加し、 予算総額は3億1578万円に

使いみち

●介護報酬改定に伴うシステム改修	147万円
------------------	-------

財源

●介護報酬改定に伴うシステム改修補助金	74万円
---------------------	------

●介護保険運営事務諸費繰入金	74万円
●低所得者保険料軽減負担金繰入金	23万円
●前年度繰越金	△23万円

(万円未満四捨五入)

おもな条例改正

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免の延長

鳴沢村国民健康保険税条例の一部改正 鳴沢村介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等に係る国保税及び介護保険料について、令和3年4月1日から

令和4年3月31日までの納期限のものを引き続き減免できるようにするなど、所要の改正を行いました。

(担当:住民課・福祉保健課)

マイナンバーカードで被保険者資格を確認へ

鳴沢村子ども医療費助成金支給条例の一部改正 鳴沢村重度心身障害者医療費助成条例の一部改正 鳴沢村ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正

医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部改正により、個人番号カード(マイナンバーカード)の健康保険証としての利用を開始するにあたり、個人番号カー

ドの利用者証明用電子証明書を用いて被保険者等であることの資格確認を行うことが追加されたことに伴い、所要の改正を行いました。

(担当:福祉保健課)



報告事項

令和3年度へ繰り越した事業を確認

令和3年度へ繰り越した事業の、繰越明許費(※)繰越計算書の報告を受けました。

一般会計	
●道の駅なるさわ運営事業	558万円
●新型コロナウイルスワクチン 予防接種事業	287万円
●中山間地域総合整備事業	14万円

●道路敷分筆・所有権移転登記事業 400万円
(万円未満四捨五入)

※繰越明許費

年度内にできなかった事業を議会の議決を経て、次の年度に繰り越して実施するもの。

教育委員会が行った事務の評価を確認

令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理や執行の状況につ

いて、点検・評価をした内容の報告を受けました。

【おもな報告事項】

●国際理解教育の推進

3・4年生の英語活動及び5・6年生の英語科の授業に英語専科講師を配置

●情報活用能力の育成

高速大容量ネットワーク及び児童一人一台端末の整備を行い、ICT関連機器を活用しながら情報教育を実施

●特別支援教育

村単教員を4名採用し、特別な配慮を必要とする児童への支援及び指導を実施

●学校施設の整備

感染症対策として新たに廊下と特別教室に網戸を設置し、扇風機未設置の教室に扇風機を設置

●文化活動の推進

芸術文化活動の発表機会として、保護者向けの発表会の開催やいきやりの湯での作品展示を実施

人事

固定資産評価審査委員会(※)委員の渡邊喜美男氏及び佐藤光徳氏が6月30日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は3年間となります。

※固定資産評価審査委員会

固定資産台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行う行政委員会。



渡辺 千秋氏



渡辺 重夫氏

公平委員会(※)委員の渡辺正士氏が6月24日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は4年間となります。

※公平委員会

職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講ずる行政委員会。



渡辺 永輝氏